

令和元年8月

社長さん、社員がどうのよに思われていますか。

この「きたない字シリーズ」は平成14年4月から書き始めて、今月で17年と5ヶ月目となります。今ではお客様、名刺交換して私の考え方に賛同していただいている方、そして社員の家族にも送らせてもらっています。私の書いた5月分の「汚い字」シリーズを読んだ女性社員のお母様が次のようなメールを送っていただいたもので、さうよでもう詳しく紹介します。「私の勤務している会社も中小企業ですが、会社の業績は良く、仕事自体に何の問題もないのですが、後継者が居なくて、役員、株主は勿論、家族、社員は先行きを案じています。中小企業にありがちなワンマン社長で、社長以下全て平社員、社長に声をあげる者もなく、というより、聴く耳持たない感じで長年過ごしてきました。今回の「会社は社員のもの」を読んで感激しました。社長の考え方一つでこんな素晴らしい組織に変わるんだな〜と。娘もこんな会社で仕事をすることが出来て、私は安心しました。」

中小企業の社長は、業績、資金、人の問題で悩み、この問題が解決することはありません。業績とお金は自分一人の力でどうにかかります。しかし人の問題は、どうしようもなく悩み、夜も眠れないこともあります。自分は社員を大切にしている、賞与だって赤字でも出している。自分はこんな頑張っているのに社員は、何故かわたてくれない、また自分の言うことを聞いてくれない、仕事のミスも多い、誰か謝っているのか等々社員に対する不満があり、大声で社員を叱ってしまうこともあります。しかし社員の側から見ると、業績の責任は自分達にはない、自分達は一生懸命やっている。賞与が少ないのは社長のせい、賞与が業界水準でもその地域の水準より低ければ不満に思うのは当然です。

中小企業で社長の年齢が70歳を超えていて、後継者が指名されているければ、社員ばかりでなく、社員の家族まで心配しています。社員のほうから、社長に後継者は誰ですが、早く指名してくださいとは言えません。ワンマン社長なうなおさうです。

私は経営理念で「会社で一番大事にするのは社員と家族です」と言っているのに、社員と家族に心配させたくないものですか。65歳で飯島社長(43歳)と交代し、社長、社員が安心して経営できるように私の持株を14%に作るまで下げました。私が去ったう子供にこの決断はできないから、社長が若いといううことは、社員が安心して可能性あり。越え、越えの経営は「人を大切にする経営」をしなければならぬと思っっています。大切にしているかどうかは社長が思っていることではなく、社員がどう思っているかどうかが、社長さんで自分に問題があれば遠慮なく注意してくれ、という人がいますか。上のメールのよに社長を注意するよな役員、幹部、社員はいません。自分は聴く耳も持たない社長がう思っているうても、社員がう見ればどうでしょう。

社員がう見て不満に思うか口にさせないこと、公私混同と社長がけが得せしているう思われていることが、いくつあります。いくつ事情はあるう思いますが、認識してほしいと願っています。いくつか書きます。①社長がけが高すぎる日当、宿泊費、交通費②社長の給与は世間並に、社員の賞与は少ない、③働いている社長の親族に給与が払われている(事情あるケースがある)④社長の公私混同等です。

社員が社長を尊敬し、自分達の会社に誇りを持てるよな会社にしたうものです。社長はた一人の考えで社員を幸せにすることができません。またた一人の考えで社員を不安と不満の会社にしてしまします。「郵便ポストが赤いのを電信柱が高いのを社長のせいである、中小企業は99%社長で決まる。」(一倉定) 古田士満